

# 徳山ダム建設中止訴え「宣言」

大垣で 45団体150人、デモ行進  
全国集会

「徳山ダム建設をやめさせ山の再生を求める全国集会」（徳山ダム建設中止を求めめる会主催）が二十四日、岐阜県大垣市の市スイトピアセンターで開かれた。全国各地から、ダムや堰（せき）など水源開発に反対している市民グループ

96.11.25 朝日

96.11.24 中日

## 開発チェック機関を 水源連が大垣で全国総会



水源開発の現状などを報告した水源開発問題全国連絡会の総会＝大垣市高砂町

ダムなどの水源開発事業の必要性に疑問を持つ市民団体が集まった全国組織「水源開発問題全国連絡会」（水源連、矢山有作代表）の第三回総会が二十三日、大垣市高砂町の旅館で

など四十五団体、百五十人（村）建設の中止に向け、粘り強く運動を続けていくことなどをうたった宣言を確

還するために取り組む一としての活動方針を確認した。

水源連は全国で水源開発に反対する約四十団体で組織。徳山ダムをはじめ全国の十二事業について事業の見直しを働き掛けている。

総会では、一年間の活動経過や各市民団体の取り組みの現状などを報告。徳山ダム建設中止を求める会（上田武夫代表）は「名古屋市が水利権の一部を返上する意向を示し、徳山ダム事業計画の根幹が崩れた」として、事業計画の根本的な見直しが必要になってきている」と指摘した。

出席した水源連の会員らは、二十四日に同市室本町の市スイトピアセンターで開かれる「徳山ダム建設をやめさせ山の再生を求める11・24全国集会」に参加する予定。

認した。終了後、横断幕やプラカードを手に、約一キロをデモ行進した。

集会では、苦田ダム（岡山県）、や足羽川ダム（福井県）、相模大堰（神奈川県）、川辺川ダム（熊本県）、千歳川放水路（北海道）、設楽ダム（愛知県）など各地の反対運動の現状を住民らが報告した。

徳山ダム建設中止を求める会の上田武夫代表は「水は余っているのに、建設省の徳山ダム建設事業審議委員会はそこを審議しよう」とし、建設予定地にはイヌワシやクマタカの生息地があり、守ることが山の再生につながる」と訴えた。

集会宣言では、ダムに頼らない治水への方向転換を要請。ダムを前提にした揖斐川の治水計画を根本から見直し、新しい治水計画を早急に立案するよう建設省に求めることも確認した。

集会には、岐阜県可児郡御嵩町から「みたけ産廃を考える会」の田中真由美さん（三）も出席。住民投票条例の制定を求める直接請求など活動を報告し、「産廃処分場問題は全国的な問題。反対だけの感情論でなく、どうしたら廃棄物を出さないようにできるのか、私たち町民も考えるようアピールしたい」と話した。

↓ 96.11.25 中日

## 『徳山ダムは必要ない』 大垣 建設中止求め全国集会



徳山ダムの建設中止を求めてデモ行進する参加者＝24日、岐阜県大垣市内で

「徳山ダム建設をやめさせ山の再生を求める11・24」で開かれた。ダム建設全国集会が二十四日、岐阜に反対する全国の四十五の

市民団体の会員ら約百八十人。長良川河口せきや愛知人が参加「徳山の山と森の再生を、ダムをつくらない暮らしを」などうたった。また岐阜県御嵩町の「徳山ダムの建設中止を求める宣言を全員で採択した。同県揖斐郡藤橋村に建設が予定されている徳山ダムの問題について、同会の上田武夫代表が説明。「現状では水は余っており、これ以上必要ない。ダム予定地にはイヌワシなど希少野生動物があり、これを守り、山を再生していくことが大切」と話した。

全国でダム建設に反対し、同町の柳川喜郎町長が襲われた事件を振り返りながら「なぜ処分場をつくってはいけないのか、どうしたら産廃を出さなくなるかということを考えていきたい」とアピールした。

参加者はその後、プラカードや横断幕を持ち、同センターから大垣駅までの市内中心部をデモ行進した。

徳山ダム建設中止を呼び掛けて市内をデモ行進する全国集会の参加者たち＝大垣市室本町



## 徳山ダム建設中止 求める宣言を採択

大垣で全国集会、デモ

揖斐郡藤橋村に計画されている徳山ダムの建設をやめさせ山の再生を求める全国集会が二十四日、大垣市室本町の市スイトピアセンターで開かれ、「環境を破壊し、住民が血税で建設費を支払わなければならないよつな、無駄な徳山ダムの建設中止を求める」とする集会宣言を採択。閉会後に

96.11.25 中日

徳山ダム建設中止を求める会は「徳山ダムができたから、西濃地区の住民は高くてますます汚染の危険がある水を飲まなくてはならない」と強調。

また「名古屋市の水利権返上で、徳山ダム事業計画の根幹が崩れた。建設省が設置した審議委員会では、返上分を木曾川の治水対策に充てるなどの議論になっているが、これは計画の根幹の変更。水需要の実態や財政上の問題、環境の面から考えてダムは必要ない」と指摘した。